

# 定時制通信

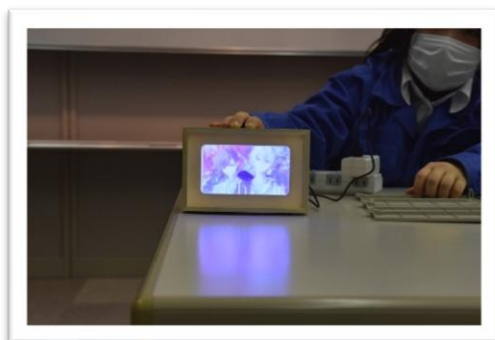


宮城県古川工業高等学校

令和8年2月26日発行

## 課題研究発表会（電気科）

1月30日（金）の3校時、コンピューター室にて課題研究発表会が実施されました。今年度は「ライトペインティング」をテーマに掲げ、3人のグループで1年間の探究成果を報告しました。これは光を透過させて鑑賞するアート作品で、背後から光を当てることで、元のイラストにはない色彩や別の絵柄が鮮やかに浮かび上がる独自の仕掛けになっています。制作過程では、光の透過度を考慮したイラストの精密な加工や、背面に配置する模様のミリ単位の調整に大変苦労しました。しかし、3人で積極的にアドバイスを交わり、試行錯誤を繰り返しながら協力し合うことで、最終的には各自が納得のいく、独創性と質の高い作品を完成させることができました。



## 課題研究発表会（機械科）

1月30日（金）の2校時、視聴覚室にて「課題研究発表会」が実施されました。最高学年である機械科4年生の3名が、この1年間精一杯努力した研究成果を堂々と披露しました。発表テーマは「ダンベル」「ペットボトルロケット」「変形家具」の作製と多岐にわたり、生徒たちは自ら設定した課題に対し、設計から加工まで試行錯誤を繰り返す探究のプロセスを、ICT機器を駆使して克明にプレゼンテーションしました。実演を交えた独創性あふれる内容は、後輩たちにとっても大きな刺激となり、4年間の学びを締めくくりにふさわしい、非常に質の高い発表会となりました。自らの手で形にする喜びと技術の深まりを、会場全体で共有した充実の時間でした。

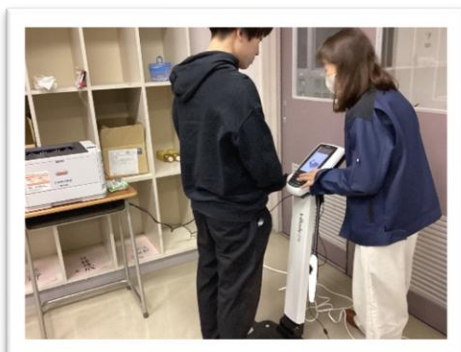


## 外部講師による授業（家庭科）

1月30日（金）、3学年の「家庭総合」にて大崎市健康推進課の保健師と栄養士をお招きし、食と健康に関する外部講師授業を行いました。

前半は「インボディ」で各自の体内状況を測定し、その結果をもとに保健師から自身の健康管理について学びました。後半は栄養士より、将来を見据えた健康的な食習慣について講義を受けました。

生徒からは「バランスが良いと思っていたが、数値を見てタンパク質不足を痛感した」「清涼飲料水の糖分が可視化され、飲み過ぎていた自分に涙が出た」等の感想が寄せられました。自らの身体を数値で客観視したことは、卒業を控えた生徒たちが食生活を見直す有意義な機会となりました。



## 研究授業②

2月10日（火）の1校時、藤井教諭（機械科教員2年目）による研究授業が行われました。1年生の「機械工作」を対象としたこの授業には、教科の枠を超えて多くの教員が参観に訪れました。授業では「鋳鉄」の特性について学習し、ICTツール「ロイロノート」を効果的に活用。生徒たちが自らの考えをリアルタイムで整理し、クラス全体で共有・比較し合うプロセスを重視した授業を展開しました。現在、教育現場で強く求められている「主体的・対話的で深い学び」を体現する藤井教諭の情熱的な指導は、生徒の知的好奇心を引き出すとともに、参観した教員にとっても自らの指導法を見直す大きな刺激となり、本校全体の授業改善に向けた、貴重な機会となりました。

